

## しらかわの 身近な文化財

第二十九話

白河のまち

本連載では、道ばたやお寺、あるいは家の中など、さまざまな場所で見かけることがある文化財を紹介してきました。今回は、それらを生み出した白河のまち自体を振り返ってみたいと思います。

白河藩の城下町であった現在の中心市街地を通る旧国道294号は、かつての奥州街道にあたり、そのルートはほぼ江戸時代のままを保っています。小峰城を囲むような道筋や、防衛を意識したかぎ型の屈曲には、当時の藩主によるまちづくりの思想が反映されています。また、通り沿いの町割りや町名も、ほとんどが江戸時代のままです。

このようなことから、白河の中心市街地は江戸時代の古地図を手に散策できるまちといわれます。

白河は冬になると風が強く吹き付けることもあり、大火が多かったようで、古い建造物の多くは焼失しています。それでもなお、江戸時代から近代にかけての店舗や土蔵、お堂などの歴史的建造物が点在し、かつての風情を感じることがができます。

また、表郷地域は棚倉街道、東地域は釜子陣屋を中心とした水戸街道、大信地域は会津街道の沿線に発展したまちです。それぞれの地域にも歴史があり、それを反映したまちなみを今に残しています。

このように、さまざまな文化財を生み出した白河のまち自体も歴史の証拠であり、広い意味での文化財といえます。まちを歩けば、先人たちがこれまで積み重ねてきたまちづくりの足跡を感じることができるでしょう。

☎文化財課 2310



奥州白河城下全図 (文化5年)▲

主要な道や町割りは、現在ほとんど変わっておらず、比較しながらまち歩きができます。

### レスパイトは英語で「休息」の意味

レスパイトケアは、介護者の負担軽減につながり、在宅介護を長く続けるために重要なものとされており、デイサービスやショートステイなど、介護者が休息するために利用できる介護保険サービスもあります。

「ちょっと疲れてきたな…」と思った時点で、早めに担当のケアマネージャーや地域包括支援センター、市高齢福祉課などに相談しましょう。

レスパイトケアを利用することにマイナスな感情を持たず、介護される方が少しでも長く在宅生活を送れるよう、積極的に休息時間を確保しましょう。



## 高齢者 あったか広場



☎高齢福祉課高齢者支援係 5519

### 介護者のためのケア

在宅介護を行う介護者は、日々の介護で身体的な疲労だけでなく、精神的な疲労もたまっていきます。この疲れをそのままにすると、身体的疲労やストレスが限界に達し、介護者自身が体調を崩してしまうなど、在宅介護を続けることが困難になってしまいます。

そうならないためにも、介護者が一時的に介護から離れ、自分自身の体と心を休める時間を持つこと（レスパイトケア）が必要です。

お知らせ

ラウンジ

りぷらん

子育て情報

保健情報

くらしの  
情報館

しらかわの  
身近な文化財

高齢者  
あったか広場

休日当番医・  
無料相談ほか

市長の  
手控え帖